

recognise/ize	recognize
organise/ize	organize
イギリス英語	アメリカ英語

一般的にはイギリス英語では-iseの方が多く使われ、アメリカ英語では-izeの方が多く使われます。

industrialize 産業化する summarize 要約する

-ize, -ise 「～する」

shorten 短くする strengthen 強化する

-en 「(～の状態に)させる」

beautify 美化する simplify 簡単にする

-ify, -fy 「～化する」

decorate 飾り付ける differentiate 区別する

-ate 「～する、～させる、～のある」

【動詞】をつくる接尾辞

-ance, -ence, -cy, -ion

-sion, -tion, -ment, -ity

-ness 「状態」

independence 独立 privacy プライバシー
information 情報 occasion 昇進
retirement 退職 ability 能力 security 安全
kindness 親切 happiness 幸福

-ic, -ics 「学問」

physics 物理学 economics 経済学

-ism 「主義、主張」

capitalism 資本主義 naturalism 自然主義

-logy 「学問」

geology 地理学 psychology 心理学

-ory 「場所」

factory 工場 territory 土地

一般的にはイギリス英語では-iseの方が多く使われ、アメリカ英語では-izeの方が多く使われます。

boyish 男の子っぽい reddish やや赤い

-ish 「～に似ている、～っぽい」

cheerful 元気一杯の stressful ストレスの多い

-ful 「～で満たされた」

imaginary 想像上の

-ar, -ary 「～に近い、～のような」

active 活発な famous 有名な
dependent ～に依存している basic 基礎の

typical 典型的な important 重要な

-ic, -ive, -ous 「性質」

-al, -ial, -ical, -ant, -ent

accessible 到達できる imaginable 想像できる

-able, -ible 「～できる、～うる」

【形容詞】をつくる接尾辞

【名詞】をつくる接尾辞

-al, -ture, -ure 「行動」

festival 祭り trial 試験、裁判
adventure 冒険 exposure 露出

-an, -ian, -ant 「人々」

musician 音楽家 American アメリカ人
attendant 出席者 participant 参加者

-ee 「(～された)人」

employee 雇われた人→従業員
nominee 推薦された人

-er, -or 「(～する)人」

teacher 先生 doctor 医者

-ist 「専門家、主義者」

scientist 科学者 chemist 化学者

clockwise 時計に関連した動きで→時計回りに
likewise 同じように

-wise 「～に関連して」

toward ～に向かって backward 後方へ

-ward, -wards 「～方向へ」

really 本当に usually たいいていは

-ly 性質

【副詞】をつくる接尾辞

angry 怒っている rainy 雨が降っている

-y 「～という状態」

priceless (値段がいらない、つけられないほど)価値がある

hopeless 希望がない

-less 「～がない」

英語の四大品詞

様態(様子)・場所・時・頻度(回数)・程度・理由などを表します
①名詞以外のものに説明をつける She swims fast.

【副詞】トヤモノを説明する言葉(≠形容詞)

②文の補語になる They are very cool.

①名詞にくっついて説明をつける cool boys

【形容詞】トヤモノを説明する言葉

→分詞・不定詞・動名詞…「連動詞」とも呼ばれます

②形を変えて、形容詞や名詞に変わる

①文章のメインになる He runs fast.

【動詞】トヤモノの動きや状態をあらわす言葉

③文の補語になる This is a book.

②文の目的語になる I want to buy the book.

①文の主語になる The book was expensive.

【名詞】モノの名前、ことからの名前を説明する言葉

理解し、接尾辞の知識を使って語彙力を強化しよう！
接尾辞はその単語に意味を付け足す、「品詞」を変える。
それぞれの品詞がどのような役割を果たすかしっかり



Suffix Mini Book

接尾辞ミニブック



★接尾辞のきほん(〜o〜)

・名詞・形容詞・副詞・動詞につき

その「品詞」をかえるモノ

・意味は接尾辞ごとに決まっており、
語幹(語の基本的意味)について
その意味をプラスし、品詞が変わる

Prefix
(接頭辞)

Root
(語幹)

suffix
(接尾辞)

単語の基本的な意味は、「語幹(Root)」がもつ。
それに接頭辞(Prefix)、接尾辞(Suffix)がつくことにより、
語の意味や品詞が変化する。

例:
語幹: lingua(舌・ことば)
→ 接頭辞 bi-(二つの) + lingua + 接頭辞 -al(形容詞化)
→ bilingual(形容詞: 二言語の)